

(進行管理)

プランの中で毎年、事業等の進捗状況や課題、目標の達成状況等の整理・分析を行い、事業の内容の見直し、改善を図ることとしている。

また同時に、社会経済情勢の変化などにより内容の変化が必要な場合には、弾力的な対応を図ることとしている。

1 羽陽学園短期大学

○ポリシーとの整合性ある改革

計画どおり進捗

○耐震改築（二期）

計画どおり完了済

○私立大学等改革総合支援事業

・タイプ 1

H28 に前倒しで達成。H29 は僅差で不採択。H30 は僅差で不採択。R 元は僅差で不採択。

・タイプ 3

R 元はタイプ 3 の「地域社会への貢献(プラットフォーム型)」で採択。

○教育活性化設備整備事業⇒ICT 活用推進事業

H29、H30 に引き続き、R 元も継続検討

○第三者評価

計画どおり達成（H30. 3 適格認定証受領）

○羽陽の里たかだまとの交流

計画どおり進捗

○介護福祉士実務者研修講座の開設

計画どおり開設

（H30 第 1 期：4 名受講、第 2 期（10 月～3 月）：受講 0）

（R 元第 1 期：4 名受講、第 2 期（10 月～3 月）：受講 0）

○エコキャンパス推進事業

計画どおり継続検討中。なお R 元は、短大冷暖房設備更新（資源エネルギー庁所管エネルギー補助事業）も併せて検討したがハードル高く断念。

○入学生の安定確保対策

H30 入学者：幼児教育科 86 名、専攻科 21 名と大きく減少するも、H31 は、幼児教育科 103 名と回復基調。専攻科は 15 名と相変わらず厳しい状況。

R2 は、幼児教育科 95 名とやや減少、専攻科は 12 名と極めて深刻な状況。

（幼児教育科については、H31 からの入学生受入れとして A0 入試の取組み。H30～離転職

者職業訓練事業での受け入れ H30:7 名、H31:8 名、R2:4 名)

○大学改革推進センターの設置

H29 年 4 月 1 日設置

○地域連携

H29. 6. 2 舟形町と連携協定の締結

R 元. 9. 26 県未来創造プラットフォームへの参画

「県未来創造プラットフォーム」は、県内大学等の強みを活かす取り組みを、自治体や産業界と連携して進めることにより、生徒・学生の県内進学率と卒業後の県内就職率を上昇させ、さらなる山形県の発展に寄与することを目標に 2018 年に発足。

参加大学等・企業・団体

- ・ 山形県
- ・ 山形市
- ・ 山形県商工会議所連合会
- ・ 山形県商工会連合会
- ・ 山形県社会福祉協議会
- ・ 国立大学法人山形大学
- ・ 独立行政法人国立高等専門学校機構鶴岡工業高等専門学校
- ・ 山形県立保健医療大学
- ・ 羽陽学園短期大学
- ・ 東北公益文科大学
- ・ 東北文教大学
- ・ 東北文教大学短期大学部

2 山形調理師専門学校

○調理教育、就職指導の充実

計画どおり進捗

○学生募集の充実

計画どおり進捗

(調理高度技術科で H31 から入学生受入れとして AO 入試の取組み)

○魅力ある学校づくり

計画どおり進捗

○就職指導

計画どおり進捗

3 附属幼稚園・認定こども園

○子ども・子育て支援新制度移行

- ・ 計画どおり H29 に施設型給付を受ける幼稚園に移行

- ・認定こども園への移行年次、移行形態の変更

大宝幼稚園は、予定どおり、R2 に幼保連携型認定こども園として改築オープン

その他の園は、地域のニーズや実情、現建物の各室配置・平面計画等を総合的に勘案し、改めて、移行形態や改修計画、移行年次等を検討

○園児募集の充実

計画どおり進捗

○教職員の資質の向上

計画どおり進捗

○短大との連携・交流

計画どおり進捗

(H30：短大と附属園代表からなる人材確保 PT で附属園への人材供給について検討)

※R2 に 9 名の採用(前年度比プラス 8 名)

○定期的な安全点検

計画どおり進捗